

平成二八年年度消防庁長官表彰 県下三消防機関一二三名が受賞

平成二九年三月八日(水)、平成二八年年度消防庁長官表彰式が日本消防会館内ニッショーホールにおいて盛大に執り行われました。

消防庁長官からの式辞に続き、長官から各受賞者代表に表彰旗等が伝達されました。その後、日本消防協会会長及び全国消防長会会長から祝辞、受賞者代表者謝辞の後、閉会しました。

また、受賞者の方々は午後から皇居を参観されました。

県下の受賞機関、受賞者は次のとおりです。

(敬称略・名簿順)

表彰旗
姫路市安富町消防団

竿頭級

宝塚市消防団
豊岡市日高消防団



受賞者の皆さん

功労章 七名

- 西宮市消防局 消防正監 坂本 健治
- 姫路市消防局 消防正監 中川 勝正
- 姫路市消防局 消防監 犬賀 武敏
- 明石市消防本部 消防監 馬本 雅之
- 神戸市消防局 消防監 大西 信悟
- 神戸市消防局 消防監 栗岡 由樹
- 播磨町消防団 団長 加納 利治

永年勤続功労章 一一四名

- 加古川市消防本部 消防監 梶原 政彦
- 北はりま消防本部 消防監 森本 純生
- 川西市消防本部 消防監 矢内 光彦
- 尼崎市消防局 消防司令長 岩脇 孝昌
- 北はりま消防本部 消防司令長 門脇 健壽
- 伊丹市消防局 消防司令長 河井 裕司
- 尼崎市消防局 消防司令長 川畑 進一
- 姫路市消防局 消防司令長 西川 孝志
- 西宮市消防局 消防司令長 野田 淳二
- 明石市消防本部 消防司令長 林 伸亮
- 淡路広域消防事務組合 消防本部 消防司令長 日々野 敷哉
- 西はりま消防本部 消防司令長 廣岡 宏一
- 神戸市消防局 消防司令長 廣瀬幸次郎
- 三木市消防本部 消防司令長 藤原 秀行
- 西はりま消防本部 消防司令長 前川 明
- 明石市消防本部 消防司令長 松森 誠次
- 西はりま消防本部 消防司令長 満田 利郎
- 北はりま消防本部 消防司令長 森脇 義和
- 西宮市消防局 消防司令長 安居 秀幸
- 北はりま消防本部 消防司令長 柳川瀬 武
- 宝塚市消防本部 消防司令長 吉田 暢元
- 美方広域消防本部 消防司令 岩瀬 澄男
- 篠山市消防本部 消防司令 大内 俊也
- 猪名川町消防本部 消防司令 大塚 常男
- 尼崎市消防局 消防司令 嘉陽 宗男
- 神戸市消防局 消防司令 岸本 四郎
- 芦屋市消防本部 消防司令 小島 亮一
- 尼崎市消防局 消防司令 坂之上 勇自
- 小野市消防本部 消防司令 多鹿 恒紀
- 南但消防本部 消防司令 谷口 和幸
- 西宮市消防局 消防司令 谷田 進

- 赤穂市消防本部 消防司令 田淵 徹
- 丹波市消防本部 消防司令 中道 典昭
- 三田市消防本部 消防司令 西田 寿行
- 姫路市消防局 消防司令 太瀬 輝昭
- 豊岡市消防本部 消防司令 松岡 勇人
- 姫路市消防局 消防司令 山路 薫
- 神戸市消防局 消防司令補 浦上 能成
- 神戸市消防局 消防司令補 川西 静夫
- 神戸市消防局 消防司令補 木村 勝
- 神戸市消防局 消防司令補 櫻木 勝利
- 神戸市消防局 消防司令補 塩田 昇
- 神戸市消防局 消防司令補 高峰 和之
- 神戸市消防局 消防司令補 所 祐司
- 神戸市消防局 消防司令補 橋廣紳之助
- 神戸市消防局 消防司令補 橋本 好明
- 神戸市消防局 消防司令補 平野 豊
- 姫路市市長公室危機管理室 主幹 長濱 洋
- 西脇市消防団 団長 東田 新吾
- 姫路市香寺町消防団 副団長 磯合 則敏
- 神戸市灘消防団 副団長 今井 進
- 洲本市消防団 副団長 上處 由雄
- 淡路市消防団 副団長 大石 卓弥
- 播磨町消防団 副団長 大江 真一

- 明石市消防団 副団長 大西 洋紀
- 小野市消防団 副団長 大野 浩志
- 芦屋市消防団 副団長 大宮 義弘
- 多可町消防団 副団長 木保 健二
- 養父市消防団 副団長 木村 一志
- 稲美町消防団 副団長 高田 和佳
- 神戸市兵庫消防団 副団長 高田 央
- 神戸市長田消防団 副団長 外浦 正吉
- 神戸市中央消防団 副団長 鳥田 政雄
- 南あわじ市消防団 副団長 中川 順博
- たつの市消防団 副団長 中谷 正憲
- 佐用町消防団 副団長 仲村 正弘
- 篠山市消防団 副団長 西尾 和磨
- 朝来市消防団 副団長 西村 正夫
- 猪名川町消防団 副団長 仁部 徹
- 養父市消防団 副団長 藤野 伸一
- 尼崎市消防団 副団長 古田 幸央
- 豊岡市但東消防団 副団長 細川 晋
- 上郡町消防団 副団長 松本 憲和
- 加西市消防団 副団長 見上 敏幸
- 宍粟市消防団 副団長 森下 龍弘
- 神戸市北消防団 副団長 森本 幾二
- 神戸市西消防団 副団長 山田 茂之
- 養父市消防団 分団長 足立 圭吾

- 相生市消防団 分団長 池田 勲
- 新温泉町消防団 分団長 池田 裕司
- 高砂市消防団 分団長 石原 勝広
- 西宮市消防団 分団長 板倉 龍雄
- 三田市消防団 分団長 乾 哲郎
- 新温泉町消防団 分団長 井上 賢治
- 加古川市消防団 分団長 糟谷 昌吾
- 姫路市姫路東消防団 分団長 北川 公一
- 豊岡市城崎消防団 分団長 北村 幸弘
- 淡路市消防団 分団長 近藤 忠継
- 淡路市消防団 分団長 坂口 保博
- 伊丹市消防団 分団長 篠塚 和弘
- 尼崎市消防団 分団長 杉山 正
- 猪名川町消防団 分団長 高岡 文雄
- 新温泉町消防団 分団長 角田 和寿
- 姫路市家島町消防団 分団長 中川 晶則
- 赤穂市消防団 分団長 中川 健二
- 相生市消防団 分団長 中川 誠
- 丹波市消防団 分団長 長澤 幸雄
- 香美町消防団 分団長 西崎 昭
- 赤穂市消防団 分団長 萩原 俊宏
- 西宮市消防団 分団長 林 靖博
- 尼崎市消防団 分団長 福井 隆
- 加古川市消防団 分団長 藤井 秀敏



代表受領 高見様

- 加東市消防団 分団長 藤本 良幸
- 西宮市消防団 分団長 坊 将英
- 赤穂市消防団 分団長 前家 利光
- 姫路市飾磨消防団 分団長 正木 敏博
- 高砂市消防団 分団長 松下 和雄
- 香美町消防団 分団長 脇坂 利勝
- 豊岡市豊岡消防団 分団長 和田 和人
- 宝塚市消防団 分団長 寺本 誠
- 川西市消防団 班長 東野 英男
- 川西市消防団 班長 福岡 進
- 三木市消防団 団員 稲見 嘉一
- 事務従事職員表彰
兵庫県 企画県民部 広域防災参事 高見 隆

消防団員応援事業所について

(公財)兵庫消防協会

消防団員応援事業所とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに、地域で活動している消防団員を地域全体で応援する事業です。

平成二十九年三月三日現在、三十一件の事業所に登録いただいております。様々な特典やサービスの提供により、消防団活動を盛り上げていただいております。

今月号から、登録事業所を順次ご紹介していきます。なお、具体的な特典やサービス内容、事業所の情報については、

今月号では、神戸地区及び阪神地区の登録事業所をご紹介します。

URL : <http://www.hyogoshoubou.jp/>

【消防団員応援事業所一覧】

※掲載内容
〈事業所所在地の管轄消防団〉
〈店舗・事業所名〉

- 神戸地区
 - 【神戸市】
 - 中央消防団
 - 二代目串勝屋
 - 西消防団
 - やきとり居酒屋・一輝
 - きやべつ畑
 - 岩岡村
 - 水上消防団
 - 早駒運輸株式会社
 - 神戸シーバス

- ポートアイランド
- スポーツセンター
- 中央消防団
- あいしん整体矯正室
- 東灘消防団
- 花義ホール

- 阪神地区
- 【尼崎市】
 - 尼崎市消防団
 - 恵比須堂(えびすどう)
 - 古田酒米店
 - (ふるたさけこめてん)
 - 〇くらぶ
 - Barstro TAHINO
 - (バルストロ タヒノ)
 - PhotoAccessRay
 - (フォトアクセスレイ)

- 【西宮市】
 - 西宮市消防団
 - 三幸石油株式会社
 - マイシヨップ名塩店
 - 中藤商店
 - 中国菜館翠鳳

- 【芦屋市】
 - 芦屋市消防団
 - 阪本商会
 - 白石
 - 花岩
 - (提携先・浜屋芦屋店)
 - スナック SOIA (そら)
 - 串かつ ばんこ
 - 芦屋 韓鉄
 - 有限会社 森岡工務店

- 【伊丹市】
 - 伊丹市消防団
 - 花詞(はなことば)
 - (株)リカースはしむら
 - ラウンジKing・Queen
 - ブラックキャッツ
 - 創作料理 かなな月
 - 得得うどん伊丹店
 - 石橋商店
 - 株式会社 伊丹ダイハツ
 - 丸美焼肉
 - 株式会社 Clutchユーめん
 - つけ麺 大前田
 - 花清花園
 - (株)伊丹メガネセンター

- メガネのマトバ
- 西田フラワー
- 石橋儀酒店
- 北伊丹ダイハツ販売株式会社
- せいだいの屋
- 式番屋
- 鉄板焼・お好み焼き
- ぼちぼち
- 居酒屋太郎
- 伊丹老松酒造株式会社
- 割烹 うしお(株)和田
- バイキング&アラカルト
- パサージュ
- 中国料理 四川
- ロビーラウンジ
- ルフラン
- 日本料理 いな乃
- スカイレストラン
- ミナレット
- イタリアンレストラン
- グラーツイエ
- サンクス大鹿店
- サンクスバラ公園店
- 白雪ブルワリービレッジ
- 長寿蔵シヨップ
- 白雪ブルワリービレッジ

- 長寿蔵レストラン
- 株式会社ゆずりは
- 介護シヨップゆずりは
- 株式会社オアシス
- 伊丹工場
- 肉のポパイ
- 【川西市】
 - 川西市消防団
 - 水口酒店
 - ワークシヨップオオツキ
 - 久代店
 - 珈乃香
 - (MITSUWA COFFEE)
 - 新創作料理 かぐらざか
 - (川西能勢口店)
 - 愉楽日本料理かぐらざか
 - (川西多田本店)
 - (株)セレ・ナス メモリアル
 - ホール 川西池田飛翔殿
 - (株)セレ・ナス メモリアル
 - ルホール 多田飛翔殿
- 【三田市】
 - 三田市消防団
 - しい茸ランド かさや
 - 中華レストラン さとり
 - 理容 さかもと
 - 三田ダイハットヨタ販売(株)

- 美好カメラ
- (株)クリーニング・センターおさき
- (株)竹花自動車
- お好み焼き 子ぶた家
- 三田スポーツクラブ
- ゴルフ練習場
- 天然温泉 有馬富士
- 花山乃湯
- 有限会社サントアン
- アーバンゴルフプラザ
- アーバンゴルフプラザ
- 工房
- アーバンゴルフプラザ
- 楽カフェ
- 株式会社アイランド
- ゴルフ三田
- 【川辺郡】
 - 猪名川町消防団
 - 伊原産業株式会社
 - 味工房いほら
 - Bamboo Tail
 - (バンブーテール)

ホームページのページ説明



このバナーをクリックすると...

右のページが表示されます。「買う」「食べる・飲む」などのジャンルをクリックもしくは市町名をクリックで、事業所の詳しい情報をご覧いただけます。



例えば、「食べる・飲む」をクリックすると、左のようなページが表示されます。サービス内容や対象者などを確認いただけます。



消防団加入促進キャンペーン実施中!

消防団は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、災害時の消火活動はもとより、防火防災指導や啓発活動など、地域防災力の要として幅広い活動を行っています。

消防団は、地域住民の安心安全を確保するために欠かすことができない組織ですが、社会環境の変化により消防団員数は減少しており、地域防災力の低下が懸念されております。

消防庁は、消防団員の減少に歯止めをかけるため、入退団時期の一月から三月を「消

防団加入促進キャンペーン」の時期と位置づけ、消防団員募集についての広報の全国的な展開を図っています。

消防団員には、サラリーマン・学生・主婦の方など、年齢・性別・職業を問わず、様々な方が参加されており、



最近では女性の方も多く参加され活躍されています。あなたも消防団に入団し、地域防災力向上に貢献してみませんか?

来月号では、東播磨地区及び中播磨地区の登録事業所をご紹介します。



平成二八年度第二回 女性消防団員技術研修会

(公財)兵庫県消防協会

平成二九年二月一九日
(日) 兵庫県消防学校にて今年度第二回の女性消防団員技術研修会を開催し、県内から六四名の女性消防団員が参加されました。

今回の研修は、午前中に



筆保事務局長あいさつ

ロープ結索と三角巾法を消防学校教官からご指導いただき、午後からはグループディスカッションを行いました。
三角巾法は、基礎を学びたい方と応用を学びたい方にグループを分けて受講していただき、ロープ結索は、「本結

び」「巻き結び」「もやい結び」を受講者全員が出来る事を目標としました。

三角巾法もロープ結索も、学校教官の丁寧な説明と指導のおかげで、「分かりやすかった。」「もっと長い時間取り組みたい。」「忘れないように練習を続けたい。」という感想をいただきました。また今回は、随行消防職員の皆様にも教官の補助としてご協力いただき、ロープ結索や三角巾法のご指導をしていただいたこともきめ細かい指導に繋がり、女性消防団員の皆さんから好評でした。

午後からは、各班に分かれてグループディスカッションを行いました。

事前に三つのテーマ(①女性消防団活動の現状について ②女性消防団員確保のために実施している取り組みや効果があると思われる取り組みについて ③災害発生時における女性消防団員の役割について)を決めて参加者へ通知していたので、資料を手にしながらディスカッションを行う班もあり、充実した時間となったようです。県下の女性消防団員が一堂に会する機会、本研修会しかありません。他団の活動状況や、課題、対

策等、様々な情報交換が行えたようで、自団へ持ち帰り今後の活動に役立てていきたいという感想が多く見受けられ、参加者は皆良い刺激を受けられたようでした。

今回のグループディスカッションでの内容をまとめたものは、後日、各支部消防団事務局へ情報共有のため、送付させていただきます。県内の

女性消防団員の皆さんの活動が益々活発になるよう、今後工夫を凝らした研修会を企画していきたいと思っております。これからも積極的なご参加をよろしく願います。

最後になりましたが、本研修会にご協力いただいた、兵庫県消防学校の皆さま、本団にありがとうございました。

この度の研修会参加消防団は次のとおり。

- ・神戸市灘消防団
- ・神戸市兵庫消防団
- ・神戸市北消防団有野支団
- ・神戸市北消防団淡河支団
- ・神戸市長田消防団
- ・尼崎市消防団
- ・宝塚市消防団
- ・芦屋市消防団
- ・伊丹市消防団
- ・加古川市消防団

- ・赤穂市消防団
- ・三木市消防団
- ・川西市消防団
- ・小野市消防団
- ・三田市消防団
- ・丹波市消防団
- ・南あわじ市消防団
- ・淡路市消防団
- ・佐用町消防団
- ※上記参加者他、県内消防本部職員・市町防災担当職員等一八名



本結びができました!



ロープ結索実施中



三角巾法 頭部止血



三角巾のたたみ方実施中



ディスカッション結果発表中



グループディスカッション実施中



『大震災から二二年を経て…』

淡路市消防団

平成七年一月一七日、淡路島北部を震源とするマグニチュード七・三の大地震が発生し、兵庫県南部を中心に甚大な被害をもたらしました。淡路市でも旧五町全体(旧津名町、旧淡路町、旧北淡町、旧一宮町、旧東浦町)で、五八名の方が犠牲となり、七、〇〇〇戸余の家屋が全半壊するという未曾有の災害となりました。

犠牲となられた方へのご冥福をお祈りするとともに、温かい励ましのお言葉や数多くの支援をいただきました全国各地の皆様へ、厚く御礼を申し上げます。

〔市内各地で追悼・防災訓練〕平成二九年一月一七日、市内各地の小学校では防災訓練が行われました。地域住民や教職員、消防職員、地元消防団などが連携し合い、児童らとともに災害時の備えや行動を再確認しました。



式典で吹奏するラッパ隊

また、旧一宮町で行われた追悼式典では、淡路市消防団ラッパ隊が参加しました。

前の旧一宮町消防団時代から続く音楽隊で、淡路市消防団発足後もその伝統は受け継がれています。現在は一七名で構成されており、普段の消防活動はもちろん、初出式等の式典でも活躍しています。

この追悼式典にはラッパ隊も例年参加しており、今年度は地域住民ら約三〇〇人が参加しました。式典参加者は、鎮魂ラッパや、そのほか各種団体によるハンドベル、鎮魂の太鼓の演奏とともに犠牲者に対し哀悼の意を捧げました。

近年、若者の流出などに伴い住民同士のコミュニティの形成が薄れつつあります。震災当時は、消防団員や地域住民らが、互いの家族構成などを熟知していたことなどが、迅速な救助活動につながりましたが、そういった情報の共有も失われることが懸念されます。

今、だからこそな地元でのイベントや訓練への参加は、コミュニティを再構築する良いきっかけとなるでしょう。



消火訓練を行う児童

『時代に即した非常時に強い消防団を目指す』

神河町消防団

神河町消防団は二町合併により、平成一八年四月一日に発足し、今年度で節目となる一〇年目を迎えました。

発足当時は、本部と三四分団、実団員数七四二名でスタートしましたが、町人口減少に比例して入団適齢人口も減少し、現在では本部と三二分団、実団員数六四一名となっており、一〇年で約一〇〇名の団員減となっています。この様な背景を鑑み、今年度には大規模な機構改革を実施しました。この機構改革については、兼ねてより大まかな組織概要が示されており、三二分団を七分団に再編。これまでの三二分団を七分団所属の三二部とし、一分団を四六部で構成する組織としました。

安に部を統廃合し再編するのではなく、従前の三二分団を三二部として維持することは、今後においても三二の地域に消防団があり、火災や自然災害が発生した場合、瞬時に対応できる体制であること、地域の安全・安心に寄与すると共に、各地区にある自主防災組織とのスムーズな連携に繋がるからです。

常時における訓練や点検、啓発啓蒙といった活動は、従前通り三二部が地域に密着して部単位で実施します。非常時(消火活動・災害対応等)における活動は、従前では部単位で対応し、現場において他の出動部と相互協力を行っていました。機構改革を期に、出動時より分団単位に広域化して対応し、団員数の少



訓練の様子

ない部を団員数の多い部がカバーすると共に、常備消防の無い我が町において、平日昼間等の人員確保が難しい時間帯での有事に備えています。これに伴い、出動体制も地域の特性や地理、団員の就業状況(町内勤務・町外勤務等)を考慮して、それぞれの分団の状況に合ったローカル・ルール(例えば〇〇地区で火災が発生した場合、火災発生直後に対応可能な団員は所属部の器具庫ではなく、□□部の器具庫に集合して出動する等)を定めました。このことにより、火災対応において、他部配備のポンプを操作しなければいけないケースも想定されることから、毎月一回これまでは部単位で行っていた機械点検や演習を、同一分団内の複数の部が合同で行うこととし、互いのポンプ操作を教え合うことで、ポンプ操作習得の場と位置づけ取り組んでいます。



真剣なまなざしです



整列!

また、この期に団員報酬の引き上げと、これまで支給していなかった出動手当を新規制定するなど、消防団員の処遇改善を行いました。

今後、ますます団員数の減少は進んでいくことが予測されますが、今回の機構改革により、活動単位を広域化したことでスケールメリットを活かし、時代に即し地域に密着した有事に強い消防団を目指して活動していきます。

わが町の団長さん

「率先垂範」

洲本市消防団

高田 光雄



洲本市は、淡路島の中央部に位置し、平成一八年に旧洲本市と旧五色町の一市一町の合併により新しく発足しました。人口は約四万五千人で、市内には大浜海岸、三熊山、成ヶ島といった瀬戸内海国立公園の指定地域もあり、海と山に囲まれた自然豊かな市となっています。

洲本市消防団は、本部及び一六の分団から構成され、市民の安全・安心を守るために日夜活動しています。そしてその先頭に立ち、指揮を執るのが高田団長です。団長は昭和五二年に旧五色町消防団に入団され、分団長、副団長を歴任後、平成二八年四月一日、団長に就任されました。

この土囊積みの実施、周辺住民の不安を取り除くために、警戒活動に尽力されました。今後の消防団活動における豊富をお聞きすると、まずは団員の確保、中でも女性消防団員の確保、次に消防資機材の充実に重きを置いて取り組んでいきたいと話されています。

われら若手消防団員

～地域共生のために…～

神戸市中央消防団第四分団
藤本 義聖



私が消防団への入団を決意したのは、本消防団が、来るべき南海トラフ地震等の災害に備え、安全・安心の街づくり、そして防災能力向上のため、地域の方々との親しみをもって活動しているところに惹かれたからです。また、私の勤めている職場において「地域共生」を目指しているところから、地域コミュニティへ参画したいとの思いがあり、入団させていただきまし



活動としては、入団当初より「応急手当普及員（救急インストラクター）」の資格を取得し市民指導を行い、最近では「神戸市小型動力ポンプ操法大会」に二番員として出場しました。慣れない操法技術に悪戦苦闘しながら、夏の暑い中も必死で訓練を行いました。訓練時は、消防職員をはじめ、分団を越えて多くの団員の方々からご指導をいただき、本消防団の仲間同士の絆の強

さを改めて感じる事ができました。消防団の活動内容は、消防のことにみならず、地域の祭りにおける警備など多種多様です。このため、時間を多く取られると思われるかもしれませんが、この経験こそ私は「宝」だと思っています。特に、防火・防災に関する知識は、家庭においても仕事においても非常に役立っており、職場の安全研修では「地震に対する備え」や「避難訓練」の指導も行っていきます。

これからも、消防の技術・技能の研鑽に努め、消防団員の中でも「頼りになる存在」になれるよう、奮闘してまいります。

がんばってます、女性消防団員

『女性ならではの活動』

「炊き出し訓練」

丹波市消防団 女性消防分団

丹波市消防団は団員定数一、七〇六名で、そのうち女性消防分団は定員二〇名、現在は八名で編成しております。主に火災予防啓発や救命講習等の活動をしており、毎月一日の夜間警戒活動を行い火災予防の声を届けています。また、地域のイベントに参加し、「火災予防啓発劇」なるものを披露し笑いの渦の中、火災予防を周知いただいております。救命講習会では、消防署員と連携し、地域や各団体を対象に老若男女を問わず、多くの方々に向け救命講習インストラクターとして講師指導にあたっています。



炊き出し訓練の様子



願いをこめて握ります

今年度は新たな取り組みとして、文化財防火デーにあわせ実施する文化財防火訓練において、女性ならではの取り組みとして、炊き出しは米一五キロ、二五〇名分のごはんを大釜で炊きました。水の分量など普段の釜とは違い、熟練の女性たちでも準備段階から試行錯誤の連続でした。こうして、炊き上がったごはんが団員の皆さんの心と体を少しでも癒してくれればと願い心をこめて握りました。昨年は熊本県、鳥取県に大きな地震が発生しましたが、いつ丹波市にも起こるかわかりません。有事の際にいち早く行動できたいと思います。

地域のお知らせ

多可町

三つの発祥のまち、さらなる高みのステージへ

多可町は、兵庫県中央部、北播磨地域の最北に位置し、町面積の約八割を山林が占める自然豊かな地域です。平成一七年一月一日に旧中町、旧加美町、旧八千代町の三町が合併して誕生した多可町は、日本一の酒造好適米「山田錦」、教科書にも載っている日本一の手すき和紙「杉原紙」、この地から提唱して制定された国民の祝日「敬老の日」と、全国的にも珍しい三つの発祥が集まるまちです。平成二八年度は、この三つの発祥が特筆すべき位置づけの年度となりました。

もに国の重要無形文化財登録に向けての励みとしました。また、九月十五日には「敬老の日制定五〇周年記念式典」を秋篠宮同妃両殿下にお出ましいただき、盛大に開催することができました。その中で「敬老文化のまち」宣言は、全国に先駆けて、文化にまで昇華させようとの決意表明となりました。さらに、先月は、山田錦誕生八〇周年を記念して「日本酒フェスタ」を開催しました。多可町ゆかりの大吟醸酒などの試飲ができるイベントで、これまた安倍首相夫人昭恵さんに日本酒にまつわる講演をしていただくなど、大いに盛り上がりを見せました。



敬老の日制定50周年記念式典の様子

その他、五・〇ヘクタールの園内に約二〇、〇〇〇株が咲き誇る「ラベンダーパーク多可」、鎌倉時代に造られたといわれる石垣が美しい日本の棚田百選「岩座神」集落、最盛期にはゲンジボタルの乱舞を鑑賞する来訪者で人だかりがでる「ホテルの宿路」など、数多くの観光スポットがあります。加えて特産でも、「播州織」や「播州百日どり」、「巻き寿司」といったさま



西日本最大級のラベンダーパーク多可



マイスター工房八千代の巻き寿司

ざまなジャンルが豊富に揃っています。先人のたゆまぬ努力と営みによって育てられた自然や歴史、伝統、文化などがこの町に詰まっています。しかし、多可町も全国の中山間地域に違わず少子化、高齢化の流れに覆われています。合併時二五、〇〇〇人を数えた人口も一〇年を経て、約三、〇〇〇人が減少しました。

そこで、多可町の創生をめざして、町民がさらに愛着を持ちながら交流人口や定住人口を獲得していくため、地域ブランドを全国に発信する施策に取り組んでいます。新しくウェブサイトを構築したり、魅力をPRする動画制作を映像クリエイターによる企画コ

多可町全国うりだしプロジェクト

「多可町」
「ここまでやったか！」



夙川公園

ンペで制作したりと、今ある魅力をさらに引き出し、あの手この手で売りだしを進めています。今後の多可町に、ぜひご期待ください。



さくら祭オープニング

今と昔の写真パネル展、昔の西宮のフィルム上映会など、満池谷会場では、西宮市吹奏楽団による野外コンサート、西宮美術協会が指導することも絵画写生会、写真の専門家がアドバイスする桜の写真撮影教室などを開催します。

また、各会場には西宮市観光キャラクターみやたんも登場して、さくら祭を盛り上げます。

そのほか、「白鹿」の銘柄で知られる辰馬本家酒造株式会社が、酒造りの歴史や文化を伝えていくことを目的に設立した「白鹿記念酒造博物館」や、市内のギャラリーなどでも関連イベントを開催します。

桜舞うまち 西宮

西宮市

西宮市では、昭和四〇年に市政四〇周年を記念して、桜を市花に制定し、その翌年から西宮さくら祭を開催しています。

今年四月二日(日)に、夙川河川敷緑地の阪急夙川駅周辺、阪急音楽園口駅周辺をそれぞれ夙川会場、音楽園口会場とし、それに阪急音楽園口駅から東へ七〇〇mのところにある、西宮震災記念碑公園の満池谷会場を加えた三会場で開催します。

夙川会場、音楽園会場がある夙川震災記念碑公園は、阪神・淡路大震災の教訓を風化させることなく後世に伝えるとともに、追悼の場とするために整備された公園で、約六〇〇本の桜が植えられています。隣接する西宮市の越水浄水場にも、山桜・里桜・枝垂桜など様々な品種の桜が約四〇〇本植えられており、普段は立ち入り禁止ですが、桜の時期には一般開放され、西宮の「桜の通り抜け」として親しまれています。同じく隣接する貯水池「二テコ池」は、野坂昭如さ

んの小説「火垂るの墓」の舞台として有名です。さくら祭当日は、各会場でも様々なイベントを開催します。メイン会場である音楽園会場では、ステージでの鏡開き、振る舞い酒、西宮音楽街道によるジャズ・アコースティックライブ、桜の名所を訪ねるガイド付きミニツアー、クイズに答えながら桜の名所を回るウォークラリーなどのほか、夜には桜のライトアップも行われます。

夙川会場では、西宮茶華道協会による観桜茶会、夙川の



西宮震災記念碑公園

編集後記

皆様もこの機会にぜひ西宮へお越しいただき、満開の桜とともに西宮さくら祭で春をお楽しみください。

日増しに暖かさを感じられるようになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、日本消防協会定例表彰、平成二八年度消防功労者消防庁長官表彰について掲載しております。受賞された皆様、誠にありがとうございます。

さて、今月号で平成二八年度の兵庫消防は最終号となりました。来年度も紙面の充実に向けてまいります。今後も「兵庫消防」のご愛読のほどよろしくお祈りします。

